

(毎月 10 日・25 日発行)

復興ニュース

57号
2012年
1月10日

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目 14-15
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR
メール kesenshimin.f.r@gmail.com

手芸作品の展示・交流会

米崎コミセン 2月5日(日) 午後

カメラアホール 2月19日(日) 午前



◆ 100名以上の方へお届け

気仙市民復興連絡会と夢ネット大船渡では、これまで被災者の生きがいづくり事業として、ネットで全国へ毛糸や布地の支援を呼びかけ、寄贈されました物資を情報紙で呼びかけた結果、気仙2市1町の被災者100人以上の方々へお届けすることが出来ました。

◆ 作った物を展示し・交流しましょう

お届けした毛糸や布地は、そろそろ何かの形ある物を作ったことと思います。左の写真は陸前高田市の滝の里仮設の皆様が、帽子やマフラーなど作成した作品を持ち

寄り、お茶会と合わせて展示を行ったものです。

このような展示を、もっと幅を広げて上記のように、陸前高田市と大船渡市で開催するものです。

展示会場では、作品の交流と同時に作った方々の交流も行うものです。

夢ネット以外の支援による作品についても、一緒に展示しますのでご協力をお願いします。

◆ 事前に作品を預かります

会場にはお茶も準備します。開催前に毛糸や布地をお届けした方のお宅を訪問し、作品を預かって展示したいと思っています。出展し来場した方にはプレゼントも準備してお持ちしています。

ぜひ、多くの方々の出展と開催日のご出席を心からご案内いたします。

なお、終了後には作品を持ち帰り下さるようお願いいたします。

すてきな交流になりますようにご協力を重ねてお願いいたします。

主催：NPO 法人夢ネット大船渡、協力：気仙市民復興連絡会

問い合わせ先：電話 (0192) 47-3271

◆ 開催日時・場所

▲陸前高田市 平成 24 年 2 月 5 日(日) 午後 1 時 00 分から 4 時 00 分

13:00~13:30 受付・展示作業

13:30~15:30 展示・交流

15:30~ 後始末

場所：米崎コミュニティセンター



▲大船渡市 平成 24 年 2 月 19 日(日) 午前 9 時 00 分~12 時 00 分

9:00~9:30 受付・展示作業

9:30~11:30 展示・交流

11:30~ 後始末

場所：カメラアホール 1階大ホール(JR盛駅前)



※ 住田町の仮設住宅の方は、
どちらかご希望の会場へご出展をお願いします。

NPO 法人夢ネット大船渡にも多くの年賀状が届きました。 この中から皆様へ 2 通の年賀状を紹介します

賀正

昨年は、3月11日の地震、津波、原子力発電所の事故。3月末の脱原発か否かの世論は46対46の真2ツ。私はこの数字を見て、10年前からの持論、脱原発を発言してゆく事を20日間の熟慮の後決心しました。4月21日、県の市長会で「浜岡を止めるべし」の発言をし全国紙に載り、5月2日、浜岡廃炉訴訟の原告の1人に加わる事を弁護士さんに伝えて、5月6日19時の管総理の歴史に残る記者会見を浜松のアクトシティーの料理屋で見ました。

6月末からブログを始め、7月から“脱原発のメッセージなる1枚のピラを配り始め、半年後の今は脱原発の世論は7割を越えるまでになりました。今年も市政に全力を尽くしつつ、脱原発の行動を続けることを誓います！ 感謝。

平成24年正月 湖西市長 三上 元

※昨年7月、静岡県湖西市から、議長・議員・防災関係者・市長・副市長らが3班に分かれて被災地三陸沿岸を視察した際、三陸鉄道(株)旅行部の依頼により、JR大船渡駅跡地で説明をいたした縁で年賀状を頂きました。大船渡に来た際、三上市長から「脱原発」のチラシを頂きました。



前列右側が三上湖西市長

謹賀新年



平成24年 元旦 初日の出
大船渡市碁石海岸

「どんな戦場でもこれほど徹底的に破壊されることはない」と衝撃を語ったのはフリーカメラマンの宮嶋茂樹ですが、被災間もなく三陸沿岸のこの世のものとは思えない光景は、いまも目に焼きついて離れません。東日本大震災と原発事故という二つの大災害によって、私たちは自分たちの暮らしや社会、そして現代文明が、いかにもろくてはかない基礎の上に築かれているかを、容赦ない形で思い知らされました。

流行語大賞には入りませんが、昨年は科学者や専門家の口から「想定外」という言葉が連発されました。その弁明はしかし、考えたくないことなので、考えなかった、と聞くべきでしょう。

「がんばろう日本」のかけ声は勇ましいのですが、家族も、家も、仕事も、船も、田畑も、生活の一切を根こそぎ流された多くの被災者にとって、前途はまさに多難というしかありません。「奇跡の一本松」で知られる陸前高田の市長で、自らも津波で奥さんを亡くされた戸羽太さんは、こう訴えています。「被災者のことを気にかけていただく。それだけでも、私たちの確かな力になるのです」。今年もどうぞよろしく願いいたします。

2012年 元旦 増子義孝（紫波町）

※ 増子さんは、いわてNPOフォーラム21の代表理事であり、岩手県のNPO活動の指導者の一人です。4月末YSセンターの一室をお借りしていた気仙市民復興連絡会事務所を訪問し、被災地からの情報発信「復興ネット」開設への説明にお出で下さいました。

今号から「夢ネット大船渡」が発行いたします

今号から復興ニュースの発行は、日本NPOセンターの助成を受けて「NPO法人夢ネット大船渡」が、これまでの「気仙市民復興連絡会」から引き継いで発行いたします。

なお、発行日は月2回発行とし、毎月10日・25日の発行日となります。また、発行枚数はこれまでの4000枚から5000枚の発行となり、自宅被災者やみなし仮設（民間貸家）の方々へも配布することになっています。

碓石海岸 元旦

平成 24 年元旦、「碓石海岸初日の出と復興もちつきフェスタ」が開かれた。水平線から昇る初日の出は、「復興の元年」を祝うようなスタートでした。このイベントは樺の里・大船渡ガイドの会、岩手吟詠会気仙地域連絡会による実行委員会主催で開かれました。日の出に合わせて、吟詠会の詩吟、地の森権現舞、商工女性会の復興太鼓。レストハウス前に移動しての「福幸もちつき」など楽しい行事でした。遠野まごころネットによる「お雑煮」も参加者へふるまいました。



イベント登録ボランティア募集 三陸鉄道盛駅ふれあい待合室



平成 24 年 1 月 2 日と 3 日の両日、三陸鉄道盛駅ふれあい待合室では、街の賑わいづくりへの一つとして、「新春お楽しみ券」（200 円）を発行し、列車内でのあんこもちやコーヒー、更にはカラオケを楽しんで頂き、帰りには素敵なプレゼントをお渡ししました。

2 日間で約 150 人の方々が、ホームに停車中の列車内で楽しんで頂きました。また、開催の両日 3 人のボランティアさんにご協力を頂きました。

◆イベント協力「登録ボランティア」募集

三陸鉄道盛駅ふれあい待合室では、被災者支援と街の活性化のためにいろいろのイベントを行っています。

そのイベントの際、来場者の案内やお世話係りのボランティアを募集しています。登録いただきイベントの際に、お願いの連絡をいたします。

三鉄ふれあい待合室へご連絡下さい。



鬼は外・福は内

のびのび子育てサポータースマイル（村上トメ子代表）は、下記のとおりカメラアホールで節分の行事を行います。

- ◆ 日 時：平成 24 年 1 月 23 日（月）
9：30～11：30
- ◆ 場 所：カメラアホール
- ◆ 参加費：1 家族 100 円（保険料）、託児もあります
- ◆ 主 催：のびのび子育てサポータースマイル
協 力：アレルギー支援ネットワーク

第2回ふれあいウォーク 5キロ

- ◆日時 平成24年1月19日(木)
午前9時40分 集合
三鉄盛駅ふれあい待合室
10:00 出発、11:30 到着
- ◆コース 盛町内 5キロ
- ◆参加費 一人300円(保険・おやつ代)
- ◆締切り 1月17日
- ◆主催・申込先



三鉄盛駅ふれあい待合室 ☎47-3542

第3木曜日は、健康と交流を目的に「三鉄ふれあいウォーキング」を行います。

第1回は、12月22日に行いました。13人の方が参加し、盛町内の歌碑等の由来を聞き、近くのことを知ることが出来てよかったと感謝の言葉を頂きました。説明役はふれあい待合室の中村さん(NPO法人もさばロハス倶楽部副会長)が行っています。



歌声列車 受付中

1月22日(日) 正午~午後2時半

三鉄盛駅ホームに停車中の列車内でカラオケを楽しみませんか。車内には通信カラオケをセットし、大きな画面で楽しめます。

- ◆参加費 一人 1,000円(弁当付き)
飲食物など持ち込み自由です。

◆締切り 1月19日

- ◆主催・申し込み先：三鉄盛駅ふれあい待合室 ☎(0192) 47-3542
被災者の皆さん ふれあい待合室には、救援物資もあります

就職者多数!

さんりく・大船渡ふるさと大使の千田俊章様のご尽力により、(株)東芝様から支援頂いたパソコンによる講座は、猪川地区公民館で昨年10月から開催しています。この頃就職が決まって退会する方が多く出て来ました。

特に金曜日(午後)は離職者が多かったこともあり、就職が決まって退会する方が多く、主催している夢ネット大船渡としても、離職者へのパソコン講座として開催していますので就職が決まって、退会者が多く現れることは大変うれしい状態と思っています。

この金曜日クラスの学習は、ワードによる「文書作成」とエクセルによる何でも使える「住所録の作成」、仕上げは「ワードによる差し込み印刷」です。また、支援を受けた最新鋭のタブレット型端末機を使って「動画撮影」をパソコンに取り込んで「編集作業」、仕上げはDVDに焼き付け各家庭のテレビで観賞出来るようにするまで学習しました。

離職中に色々の技術を習得し、多くの方々が一日も早く元の生活に近づくよう願っています。

NPO法人夢ネット大船渡 パソコン講座担当：西村幸雄

